

単元の課題

適切な資料を活用して設定された主題に沿って地域的特色を読み取り、最近の変化や日本との関係を考察しよう。

知識・技能の習得

<第1時>

ヨーロッパの自然

地図や雨温図を用いてヨーロッパの気候の特色を理解し、地形との関係を説明する。

<第2時>

ヨーロッパの文化と歩み

写真や地図からキリスト教とヨーロッパ文化の結びつきを読み取り、民族や文化の多様さを乗り越えてEUとしてまとまった理由を考える。

<第3時>

ヨーロッパの産業

気候や歴史的背景を基に、ヨーロッパの農業や工業の特色を理解し、説明する。

知識・技能の活用

<第4時>

追究～国境を自由にこえられる暮らし～

ヨーロッパ連合（EU）の現状を理解し、適切な資料を用いて現在の課題について追究する。

知識・技能の習得

<第5時>

ヨーロッパとアジアにまたがる国ロシア

ロシアの国土と歴史について概観し、日本との貿易関係について理解する。

単元の到達目標

ヨーロッパ州の地域的特色を理解し、最近の社会の変化や日本との関係について説明できる。

1 ヨーロッパの自然 (1/5)

本時の目標：地図や雨温図を用いて、ヨーロッパの地形や気候の特色を理解し、説明できるようにする。

プロセス1：課題設定

キーワードを確認する



発問 ヨーロッパを気候の特色で三つに分けると、どのようになるでしょう。またそれは、地形とどのような関係があるでしょう。

📖キーワード (予習事項)
アルプス山脈, 国際河川, 氷河, 暖流, 偏西風, 西岸海洋性気候, 地中海性気候, 亜寒帯

👉ワンポイントアドバイス
◇情報を「気付きメモ」に記入
→生徒は未習事項のキーワードやキーセンテンスをあげ、既習事項については教師が押さえる。

プロセス2：仮説立案と検証

各自の持つ情報から、仮説を立てる (仮説立案)

読取

📖資料：地図帳 p. 11~12, p. 45~46



各自の仮説について、資料で確認する (検証)

解釈

👉ワンポイントアドバイス
◇地図やグラフから情報収集
◇アシストカードを活用
◇自分の意見を必ず文章化

プロセス3：交流と再構築

グループで話し合い、全体の場で発表する (交流)

説明

👉ワンポイントアドバイス
◇他者が納得できる説明 (根拠が大事)
→資料を示す
◇他者の説明をしっかりメモ (参考に)



自分の意見を見直す (知識の再構築)

解釈

プロセス4：一般化と発展

今日の学習についてまとめる (一般化), 振り返る



新たに生まれた疑問から学習課題をつくる (発展)
例) 日本とイタリアでは、どちらが生活しやすいだろうか。

《一般化》
ヨーロッパ北部は高緯度のため亜寒帯の気候。ヨーロッパ西部は暖流と偏西風の影響で同緯度地域よりも温暖な気候。世界の他の地域でも暖流と偏西風の影響を受けるところがある。

👉ワンポイントアドバイス
◇「学習課題のつくりかた」を活用
→追究の時間につくる学習課題につなげる。

生徒がめざす姿 (評価規準)

<p><関心・意欲・態度> ○地図や雨温図からヨーロッパの地形や気候の特色を複数読み取り、ノートに書き留めている。</p>	<p><思考・判断・表現> ○自分の意見を、根拠を示しながら具体的に説明している。</p>	<p><資料活用の技能> ○地図やグラフなど適切な資料を選び、必要な情報を読み取っている。</p>	<p><知識・理解> ○ヨーロッパの地形や気候についての知識を身に付け、説明や論述のときなどに使っている。</p>
---	---	---	---

2 ヨーロッパの文化とあゆみ (2/5)

本時の目標：写真や地図からキリスト教とヨーロッパ文化の結びつきを読み取り、民族や文化の多様さを乗り越えてEUとしてまとまった理由を考える。

プロセス1：課題設定

キーワードを確認する



発問

キリスト教は、ヨーロッパの人々の生活とどのように結び付いているのでしょうか。また、ヨーロッパの国々は、なぜ欧州連合 (EU) としてまとまったのでしょうか。

☞キーワード (予習)

キリスト教, カトリック, プロテスタント, 正教会, 民族, ゲルマン語系, ラテン系, スラブ系, 植民地, EU

📌ワンポイントアドバイス

◇情報を「気付きメモ」に記入
→生徒は既習事項以外をあげ、既習事項については教師がおさえる。

プロセス2：仮説立案と検証

各自の持つ情報から、仮説を立てる (仮説立案)

読取

☞資料：教科書 p. 60~61

地図帳 p. 17~18



解釈

各自の仮説について、資料で確認する (検証)

📌ワンポイントアドバイス

◇地図や写真などから情報収集
◇アシストカードを活用
◇自分の意見を必ず文章化

プロセス3：交流と再構築

グループで話し合い、全体の場で発表する (交流)

説明

📌ワンポイントアドバイス

◇他者が納得できる説明 (根拠が大事)
→資料を示す



解釈

自分の意見を見直す (知識の再構築)

◇他者の説明をしっかりとメモ (参考に)

プロセス4：一般化と発展

今日の学習についてまとめる (一般化), 振り返る



新たに生まれた疑問から学習課題をつくる (発展)

例) キリスト教以外のどのようなものが、ヨーロッパの文化に影響を与えているのだろう。

《一般化》

キリスト教は、民族独自の文化形成に影響している。

ヨーロッパ諸国は、二度の戦争により国力を低下させたため、欧州連合をつくり、協力し発展しようとしている。

📌ワンポイントアドバイス

◇「学習課題のつくりかた」を活用
→追究の時間につくる学習課題につなげる。

生徒がめざす姿 (評価規準)

<関心・意欲・態度>

○複数の資料から、キリスト教がヨーロッパの人々の生活に影響を与えていることを読み取り、ノートに書き留めている。

<思考・判断・表現>

○自分の意見を、根拠を示しながら具体的に説明している。

<資料活用の技能>

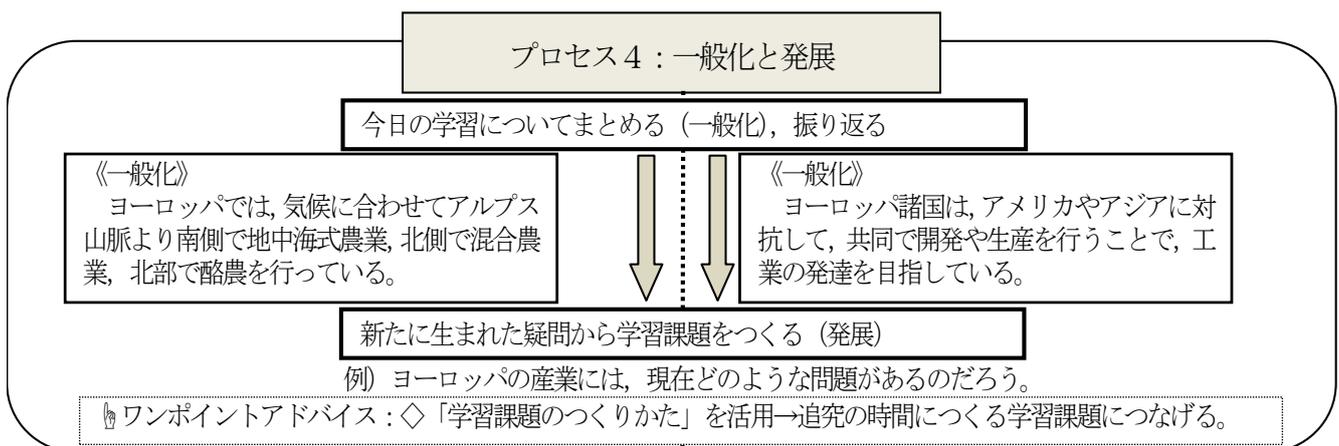
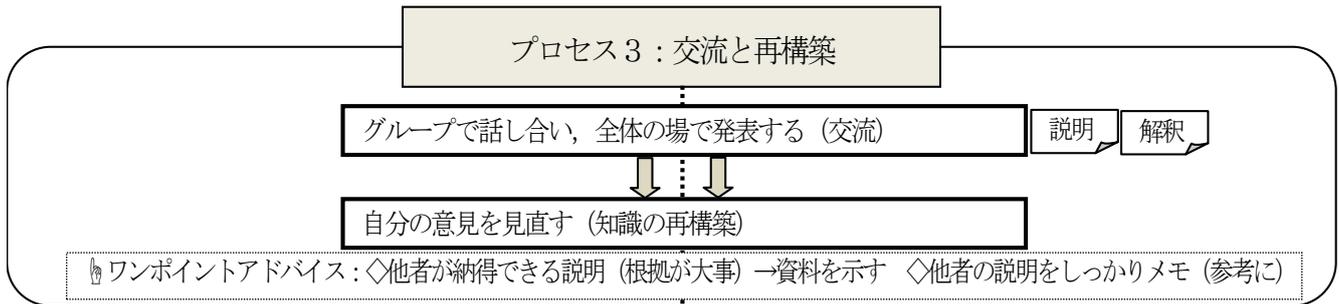
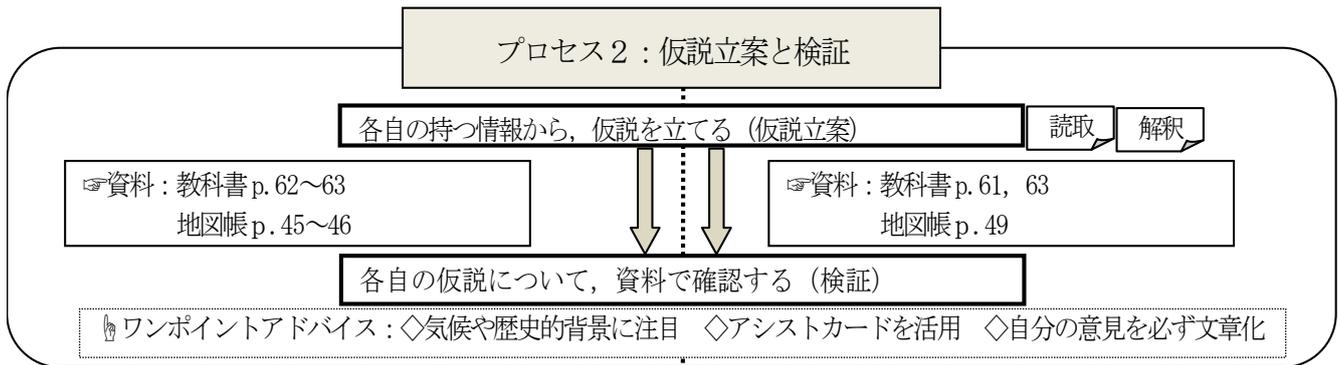
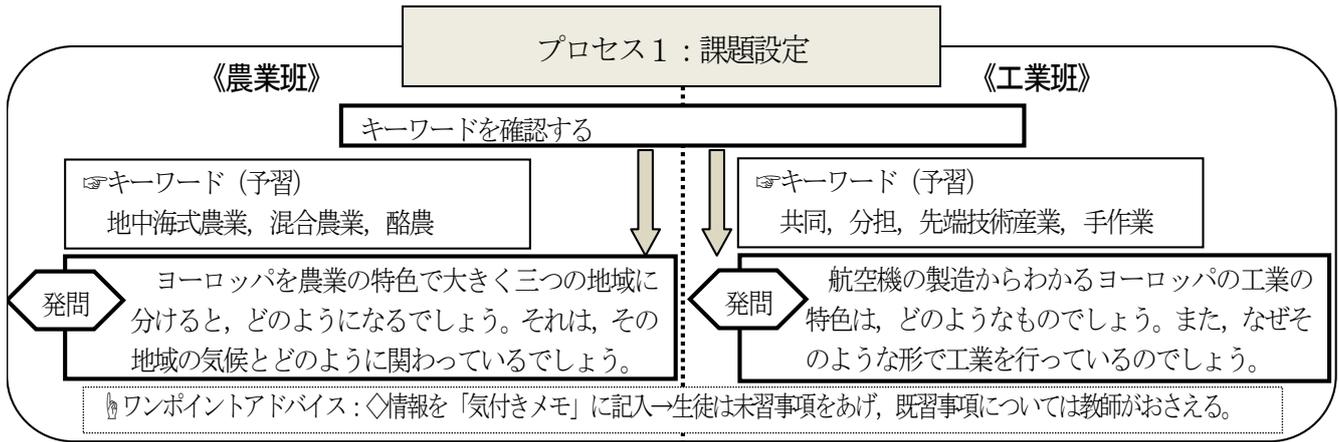
○地図やグラフなど適切な資料を選び、必要な情報を読み取っている。

<知識・理解>

○植民地獲得から欧州統合に至る大まかな歴史の流れをとらえ、説明や論述のときなどに使っている。

2 ヨーロッパの産業 (3/5)

本時の目標：気候や歴史的背景を基に、ヨーロッパの農業や工業の特色を理解し、説明できるようにする。

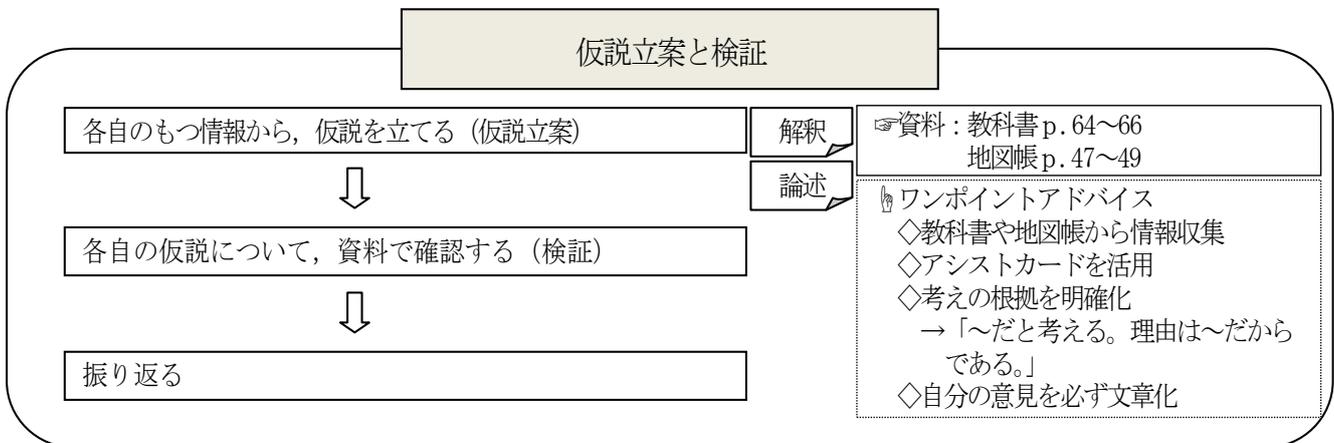
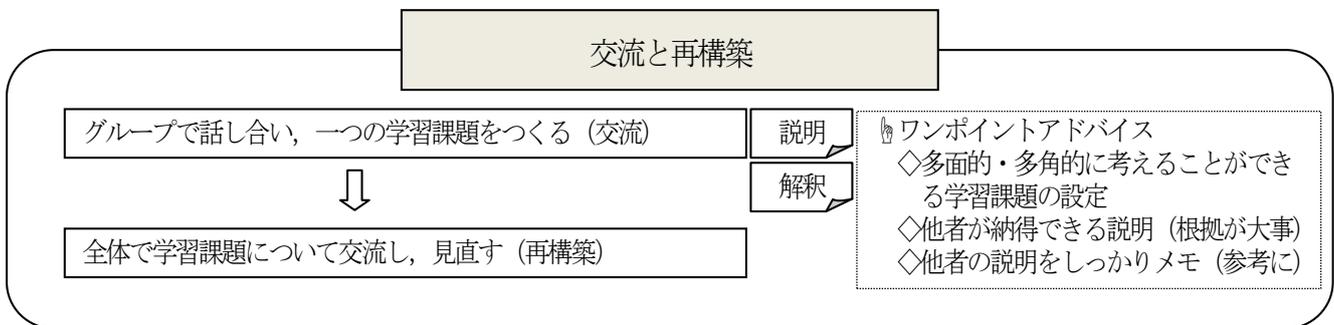
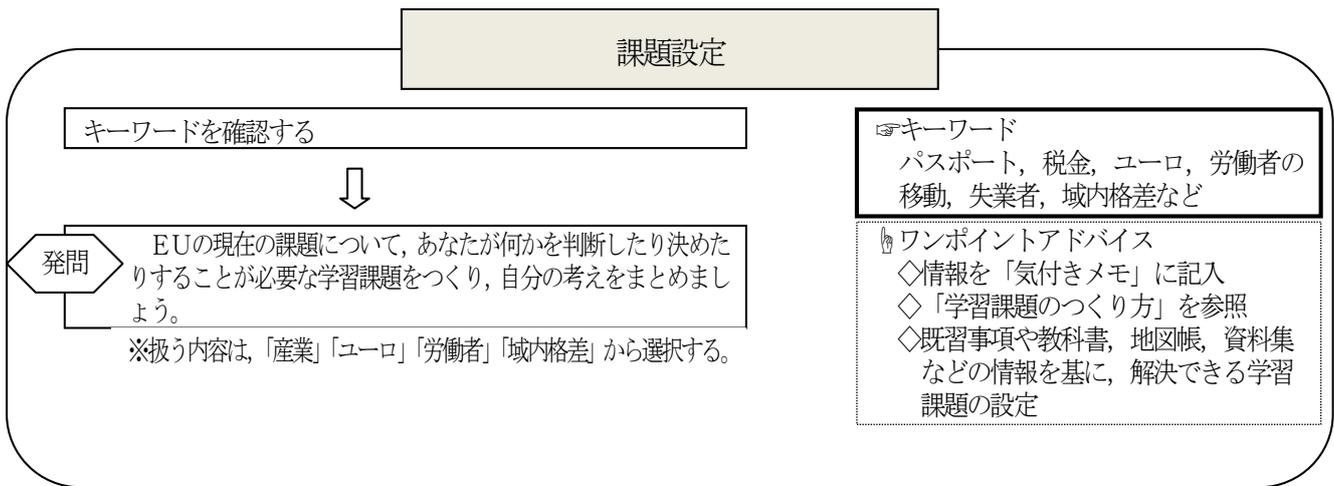


生徒がめざす姿 (評価規準)

<p><関心・意欲・態度> ○複数の情報を資料から読み取り、ノートに書いている。</p>	<p><思考・判断・表現> ○ヨーロッパの産業の特色について、気候や歴史的背景を踏まえて考察している。</p>	<p><資料活用の技能> ○地図や図などの資料から、ヨーロッパの産業の特色を読み取っている。</p>	<p><知識・理解> ○必要な知識を身に付け、説明や論述のときなどに使っている。</p>
--	---	--	--

4 追究～国境を自由にこえられる暮らし～ (4/5)

本時の目標：EUの現状を理解し、適切な資料を用いて現在の課題について追究する。



生徒がめざす姿 (評価規準)

<p><関心・意欲・態度> ○既習事項や資料を基に、価値判断や意思決定ができる学習課題をつくっている。</p>	<p><思考・判断・表現> ○EUの現在の課題について考え、具体的な根拠を示しながら論述している。</p>	<p><資料活用の技能> ○地図やグラフなど適切な資料を選び、EUの課題に関わる必要な情報を読み取っている。</p>	<p><知識・理解> ○EUに関する知識を身に付け、説明や論述のときなどに使っている。</p>
---	---	--	---

本時の目標：ロシアの国土と歴史について概観し、日本との貿易関係について理解できるようにする。

プロセス1：課題設定

キーワードを確認する

↓

発問

ロシアと日本の貿易の特徴は、どのようなものでしょう。また、今後どのようにしていけばよいのでしょうか。

☞キーワード (予習)
ウラル山脈, 日本の45倍の面積, 9時間の時差, シベリア, -50℃以下の気温, 100以上の少数民族, ソビエト連邦, 豊富な資源 (原油, 天然ガス), 日本との共同開発など

📌ワンポイントアドバイス
◇情報を「気付きメモ」に記入
→生徒は既習事項以外をあげ, 既習事項については教師がおさえる。

プロセス2：仮説立案と検証

各自の持つ情報から, 仮説を立てる (仮説立案)

↓

各自の仮説について, 資料で確認する (検証)

読取

解釈

☞資料：教科書 p. 69
地図帳 p. 51～52

📌ワンポイントアドバイス
◇地図やグラフなどから情報収集
◇アシストカードを活用
◇自分の意見を必ず文章化

プロセス3：交流と再構築

グループで話し合い, 全体の場で発表する (交流)

↓

自分の意見を見直す (知識の再構築)

説明

解釈

📌ワンポイントアドバイス
◇他者が納得できる説明 (根拠が大事)
→資料を示す
◇他者の説明をしっかりメモ (参考に)

プロセス4：一般化と発展

今日の学習についてまとめる (一般化), 振り返る

↓

新たに生まれた疑問から学習課題をつくる (発展)
例) ロシアと日本は, 貿易以外の部分では, どのような関係なのだろう。

《一般化》
ロシアから日本への輸出品は, 原油や天然ガスなどが中心である。エネルギー資源の乏しい日本にとっては, 今後も重要な貿易相手であるといえる。

📌ワンポイントアドバイス
◇「学習課題のつくりかた」を活用
→追究の時間につくる学習課題につなげる。

生徒がめざす姿 (評価規準)

＜関心・意欲・態度＞
○地図やグラフなどの資料から, ロシアの国土や歴史についての複数の情報を読み取り, ノートに書き留めている。

＜思考・判断・表現＞
○ロシアと日本の今後の貿易の在り方について, 自分の意見を, 根拠を示しながら具体的に説明している。

＜資料活用の技能＞
○グラフを用いて, ロシアと日本の貿易の特徴について, 必要な情報を読み取っている。

＜知識・理解＞
○必要な知識を身に付け, 説明や論述のときなどに使っている。

1年 社会科学習指導案

1. 本時…ヨーロッパの自然 (第1時)

2. 本時の目標…資料を用いて、ヨーロッパの地形や気候の特色を理解し、説明できるようにする。

3. 本時の評価

観点	学習活動における具体的な評価規準 (B)	(A) 十分満足できる	(C) の生徒への手立て
関心 意欲 態度	地図や雨温図からヨーロッパの地形や気候の特色を複数読み取り、ノートに書き留めている。	地形と気候の特色を関連付けて分類しながら、ノートにまとめようとしている。	キーワードの中から地形や気候に関わるものを探すことで、特色をあげられるようにする。
知識 理解	ヨーロッパの地形や気候についての知識を身に付け、説明や論述のときなどに使っている。	地形と気候についての知識を関連付けて理解し、説明や論述のときなどに正しく使っている。	学び合い学習を通して、他の生徒の意見を聞くことで、理解できるようにする。

4. 本時の展開

過程 (分)	学習内容	学習活動 (◇), 予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点 (○)・支援 (*)・評価 (【 】)
プロセス1 (7分)	1. キーワードの確認	◇家庭学習で挙げたキーワードを、全体で確認する。	○事前学習ができているか、机間指導で確認する。 ○キーワードを板書し、特に重要なものについては、意味や内容も確認する。
発問「ヨーロッパを気候の特色で三つに分けると、どのようになるでしょう。またそれは、地形とどのような関係があるでしょう。」			
プロセス2 (10分)	2. ヨーロッパの自然	◇ヨーロッパの白地図に主な地形を描き入れ、気候の特色から地域分類し、それぞれの特色をまとめる。 <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">読取</div> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">解釈</div> ・ヨーロッパ北部は氷河の影響を受けた地形で亜寒帯の気候である。 ・アルプス山脈北部は平野が広がり、暖流と偏西風の影響を受けて同緯度地域よりも温暖な西岸海洋性気候である。 ・地中海沿岸は、夏高温で乾燥し、冬は比較的雨が多い地中海性気候である。	○生徒各自に、ヨーロッパの白地図を配布する。 ○教科書や地図帳から、地形と気候の特色に関わる地図やグラフを見つけ、地域分類の根拠にする。 ○暖流(北大西洋海流)や偏西風など、ヨーロッパの気候を特色付ける要因についてもあげられるようにする。 *「～は、～の影響で、気温が～で降水量が～である」などの話型を示すことによって、キーワードを用いて文章化できるようにする。
プロセス3 (5分)	3. 説明内容の検討	◇各自が考えた地域分類と説明をグループで交流し、より納得できる分類と説明を考える。 <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">説明</div> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">解釈</div> ◇グループでまとめた地域分類を、全体場で発表し交流する。	○自分で描いた白地図を用いて説明するようにする。 ○各班に1枚白地図を配布し、描き込むようにする。 ○「学び合い学習の約束」で、学び合い学習のねらい、進め方、話すときと聞くときのルールを確認しながら進める。

			<p>○自分の分類と違うところを見つけて書き留めるように指示する。わからない言葉は、説明の後で質問するようにする。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>地図や雨温図からヨーロッパの地形や気候の特色を複数読み取り、ノートに書き留めている。(ノート)</p>
プロセス4 (8分)	4. 学習のまとめと課題づくり	<p>◇今日の学習内容を一般化する。</p> <p>◇振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの気候に暖流と偏西風が影響するように、世界の他の地域でも海流や風が同じような影響を与えることがわかった。 <p>◇今日の授業で新たに生まれた疑問を基に、各自で学習課題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本とイタリアでは、どちらの方が生活しやすいだろうか。 	<p>◇一般化(まとめ)</p> <p>ヨーロッパ北部は高緯度のため亜寒帯の気候。ヨーロッパ西部は、暖流と偏西風の影響を受けて同緯度地域よりも温暖な気候。世界の他の地域でも暖流と偏西風の影響を受けるところがある。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>ヨーロッパの地形や気候についての知識を身に付け、説明や論述のときなどに使っている。(ノート)</p> <p>*「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きであげることで、文章化できるようにする。</p> <p>○「学習課題のつくりかた」を参考にして、学習課題を考えるようにする。</p>

5. 板書計画

<p>第3章 世界の諸地域</p> <p>第2節 ヨーロッパ州</p> <p>◎本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図や雨温図を用いて、ヨーロッパの地形や気候の特色を理解し、説明する。 <p>◎めざす姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図や雨温図からヨーロッパの地形や気候の特色を複数読み取り、ノートに書き留めている。(関心・意欲・態度) ・ヨーロッパの地形や気候についての知識を身に付け、説明や論述のときなどに使っている。 	<p>(各班の意見)</p> <p>1班:</p> <p>2班:</p> <p>3班:</p>
<p>気付きメモ (キーワード)</p>	<p>[一般化]</p>
<p>学習課題</p> <p>ヨーロッパを気候の特色で三つに分けると、どのようになるでしょう。またそれは、地形とどのような関係があるでしょう。</p>	<p>【学習のまとめ】</p>
	<p>《新たな疑問と課題》</p> <p>疑問：なぜ~だろう?</p> <p>学習課題 どうすれば~だろう?</p>

1年 社会科学習指導案

1. 本時…ヨーロッパの文化と歩み（第2時）

2. 本時の目標…写真や地図からキリスト教とヨーロッパ文化の結びつきを読み取り、民族や文化の多様さを乗り越えてEUとしてまとまった理由を考える。

3. 本時の評価

観点	学習活動における具体的な評価規準 (B)	(A) 十分満足できる	(C) の生徒への手だて
関心 意欲 態度	複数の資料から、キリスト教がヨーロッパの人々の生活に影響を与えていることを読み取り、ノートに書き留めている。	キリスト教の宗派の分布と言語の分布を関連付けて、キリスト教と民族の文化とのつながりをとらえ、ノートに書き留めている。	「ドイツの祝祭日」などの教科書の資料を示し、そこからキリスト教に関わるものを探すことで、結びつきについてあげられるようにする。
知識 理解	植民地獲得から欧州統合に至る歴史の流れを、大まかにとらえている。	欧州連合成立に至るまでの歴史を、アメリカなどの大国との関係を背景にとらえている。	植民地、民族、戦争というキーワードを示すことで、歴史の大まかな流れをとらえることができるようにする。

4. 本時の展開

過程 (分)	学習内容	学習活動 (◇), 予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点 (○)・支援 (*)・評価 (【 】)
プロセス1 (7分)	1. キーワードの確認	◇家庭学習で挙げたキーワードを、全体で確認する。	○事前学習ができているか、机間指導で確認する。 ○キーワードを板書し、特に重要なものについては、意味や内容も確認する。
発問「キリスト教は、ヨーロッパの人々の生活とどのように結び付いているのでしょうか。また、ヨーロッパの国々は、なぜ欧州連合 (EU) としてまとまったのでしょうか。」			
プロセス2 (10分)	2. キリスト教の影響とヨーロッパのあゆみ	◇教科書の資料から、キリスト教がヨーロッパの人々の生活とどのように結び付いているのかを読み取る。 読取 解釈 ・ドイツには、キリスト教に関わる祝祭日がたくさんある。 ・ヨーロッパ各国には、キリスト教に関わる祭りがある。 ・キリスト教の宗派の分布は、ヨーロッパの言語の分布と似ている。 ・キリスト教の宗派が違うから、民族の文化に違いがある。 ◇教科書の本文や略年表から、ヨーロッパ諸国が欧州連合 (EU) としてまとまった理由を探して文章にまとめる。 読取 解釈 ・ヨーロッパの国々は、植民地をつくり、国力を伸ばした。 ・国や民族の対立で戦争を繰り返し、力が低下	* 「ドイツの祝祭日」などの教科書の資料を示し、そこからキリスト教に関わるものを探すことで、結びつきについてあげられるようにする。 ○「キリスト教の宗派の分布」と「言語の分布」の資料にも注目するよう指示する。 【関心・意欲・態度】 複数の資料から、キリスト教がヨーロッパの人々の生活に影響を与えていることを読み取り、ノートに書き留めている。(ノート) * 「植民地」「民族」「戦争」というキーワードを示すことで、歴史の大まかな流れをとらえることができるようにする。

		<p>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカなどの大国に対抗するために協力して発展していこうと考え、欧州連合をつくった。 	
プロセス3 (5分)	3. 説明内容の検討	<p>◇各自が考えをグループで交流し、結び付きと欧州連合成立についてまとめる。</p> <p style="text-align: center;">説明 解釈</p> <p>◇グループでまとめた意見を、全体の場で発表し交流する。</p>	<p>○どの資料からどういうことを読み取ったのかを、必ず説明するようにする。</p> <p>○「資料からわかったこと」と「自分で考えたこと」の違いを意識できるようにする。</p>
プロセス4 (8分)	4. 学習のまとめと課題づくり	<p>◇今日の学習内容を一般化する。</p> <p>◇振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教がヨーロッパの人々の文化と深く結び付いていることがわかった。 ・欧州連合 (EU) をつくって、ヨーロッパの国々が協力して発展していこうとしていることがわかった。 ・欧州連合 (EU) がどういうものなのか興味がわいた。 <p>◇今日の授業で新たに生まれた疑問を基に、各自で学習課題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧州連合 (EU) とはどのようなものだろう。 	<p style="text-align: center;"><一般化 (まとめ)></p> <p>キリスト教は、民族独自の文化形成に影響している。ヨーロッパ諸国は、二度の戦争により国力を低下させたため、欧州連合をつくり協力し発展しようとしている。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>植民地獲得から欧州統合に至る歴史の流れを、大まかにとらえている。(ノート)</p> <p>*「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きであげることで、文章化できるようにする。</p> <p>○「学習課題のつくりかた」を参考にして、学習課題を考えるようにする。</p>

5. 板書計画

<p>【ヨーロッパの文化とあゆみ】</p> <p>◎本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や地図からキリスト教のヨーロッパ文化への影響を読み取る。また、植民地獲得から欧州連合成立までのヨーロッパの歴史を、大まかにとらえる。 <p>◎めざす姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料から、キリスト教がヨーロッパの人々の生活に影響を与えていることを読み取り、ノートに書き留めている。(関心・意欲・態度) ・植民地獲得から欧州統合に至る歴史の流れをおおまかにとらえている。(知識・理解) 	<p>《各班の意見》</p> <p>1班：</p> <p>2班：</p> <p>3班：</p>
<p>気付きメモ (キーワード)</p> <p>キリスト教, カトリック, プロテスタント, 正教会, 民族, ゲルマン語系, ラテン語系, スラブ語系, 植民地, 戦争, 欧州連合 (EU)</p>	<p>[一般化]</p>
<p>学習課題</p> <p>キリスト教は、ヨーロッパの人々の生活とどのように結び付いているのでしょうか。また、ヨーロッパの国々は、なぜ欧州連合 (EU) としてまとまったのでしょうか。</p>	<p>《学習の振り返り》</p> <p>《新たな疑問と課題》</p> <p>疑問：なぜ~だろう？</p> <p>学習課題 どうすれば~だろう？</p>

1年 社会科学学習指導案

1. 本時…ヨーロッパの産業（第3時）

2. 本時の目標…気候や歴史的背景を基に、ヨーロッパの農業や工業の特色を理解し、説明できるようにする。

3. 本時の評価

観点	学習活動における具体的な評価規準 (B)	(A) 十分満足できる	(C) の生徒への手だて
思考判断表現	ヨーロッパの産業の特色について、気候や歴史的背景を踏まえて考察している。	ヨーロッパの産業の特色について、アメリカやアジアと比較して考察できる。	第1時で作成した自然環境の白地図や、第2時で学習したEU成立の理由を見直すことで、産業との関わりに気付くことができるようにする。
資料活用の技能	地図や図などの資料から、ヨーロッパの産業の特色を読み取っている。	農産物や工業製品の種類・生産額など、ヨーロッパ各国の産業の様子を細かく読み取っている。	混合農業、地中海式農業、酪農や共同、分担というキーワードを示すことで、資料のポイントをとらえることができるようにする。

4. 本時の展開

過程(分)	学習内容	学習活動 (◇), 予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点 (○)・支援 (*)・評価 (【 】)
プロセス1 (7分)	1. キーワードの確認	◇家庭学習で挙げたキーワードを、全体で確認する。	○事前学習ができていないか、机間指導で確認する。 ○キーワードを板書し、特に重要なものについては、意味や内容も確認する。
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>発問</p> <p>《農業班》「ヨーロッパを農業の特色で大きく三つの地域に分けると、どのようになるでしょう。それは、その地域の気候と、どのように関わっているでしょう。」</p> <p>《工業班》「航空機の製造からわかるヨーロッパの工業の特色は、どのようなものでしょう。また、なぜそのような形で工業を行っているのでしょうか。」</p> </div>			
プロセス2 (10分)	2. ヨーロッパの産業	<p>《農業班》</p> <p>◇既習事項から予想して、白地図を三つに地域分類する。教科書の資料で確認し、各地域の農業の特色を白地図にまとめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">読取</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">解釈</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・夏に乾燥するアルプス山脈の南側では、オレンジやぶどうなどを生産する地中海式農業が盛ん。 ・1年を通じて比較的暖かく雨が降るアルプス山脈の北側では、豚や牛などの家畜の飼育と、小麦などの栽培を組み合わせた混合農業を行う。 ・気温が低いヨーロッパ北部のデンマークやオランダでは、酪農が盛ん。 	<p>*第1時で作成した自然環境の白地図を見直すことで、農業との関わりに気付くことができるようにする。</p> <p>*混合農業、地中海式農業、酪農というキーワードを示すことで、資料のポイントをとらえることができるようにする。</p> <p>【資料活用の技能】</p> <p>地図や図などの資料から、ヨーロッパの産業の特色を読み取っている。(ノート)</p>

		<p>《工業班》</p> <p>◇資料「各国で分担して行う航空機の製造」からヨーロッパの工業の特色を読み取りまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの国々は、共同で開発や生産を行うことで、アメリカや日本、アジア諸国に対抗している。 ・製品の各部分を各国の得意分野を生かして製造することで、よりよい製品を作っている。 	<p>○「なぜ分担して行うようになったのか」も同時に考えるようにする。</p> <p>*第2時で学習したEU成立の理由を見直すことで、工業との関わりに気付くことができるようにする。</p> <p>*共同、分担というキーワードを示すことで、資料のポイントをとらえることができるようにする。</p>
プロセス3 (25分)	3. 説明内容の検討	<p>◇各自が考えをグループで交流し、産業の特色についてまとめる。 説明 解釈</p> <p>◇グループでまとめた意見を、全体の場で発表し交流する。</p>	<p>○どの資料からどういうことを読み取ったのかを、必ず説明するようにする。</p> <p>○「資料からわかったこと」と「自分で考えたこと」の違いを意識できるようにする。</p>
プロセス4 (8分)	4. 学習のまとめと課題づくり	<p>◇今日の学習内容を一般化する。</p> <p>◇振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの農業が、気候と深く関わっていることがわかった。 ・ヨーロッパの国々が、協力して工業を発展させようとしていることがわかった。 ・欧州連合（EU）ができたから、協力しやすくなったのではないか。 <p>◇今日の授業で新たに生まれた疑問を基に、各自で学習課題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの産業には、現在どのような問題があるのだろうか。 	<p style="text-align: center;"><一般化(まとめ)></p> <p>《農業班》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヨーロッパでは、気候に合わせてアルプス山脈より南側で地中海式農業、北側で混合農業、北部で酪農を行っている。 <p>《工業班》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ヨーロッパ諸国は、アメリカやアジアに対抗して、共同で開発や生産を行うことで、工業の発達を目指している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>ヨーロッパの産業の特色について、気候や歴史的背景を踏まえて考察している。(ノート)</p> <p>*「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きであげることで、文章化できるようにする。</p> <p>○「学習課題のつくりかた」を参考にして、学習課題を考えるようにする。</p>

5. 板書計画

<p>第3章 世界の諸地域 第2節 ヨーロッパ州</p> <p>【ヨーロッパの産業】</p> <p>◎本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候や歴史的背景を基に、ヨーロッパの農業や工業の特色を理解し、説明する。 <p><u>気付きメモ (キーワード)</u> 地中海式農業、混合農業、酪農</p> <p>《農業班》 学習課題</p> <p>ヨーロッパを農業の特色で大きく三つの地域の分けると、どのようになるでしょう。それは、その地域の気候と、どのように関わっているでしょう。</p> <p>(各班の意見)</p> <p>1班: 2班: 3班:</p> <p>[一般化]</p>	<p>◎めざす姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの産業の特色について、自然環境や歴史的背景を踏まえて考察している。(思考・判断・表現) ・地図や図などの資料から、ヨーロッパの産業の特色を読み取っている。(資料活用)の技能) <p><u>気付きメモ (キーワード)</u> 共同、分担、先端技術産業、手作業</p> <p>《工業班》 学習課題</p> <p>航空機の製造からわかるヨーロッパの工業の特色は、どのようなものでしょう。また、なぜそのような形で工業を行っているのでしょうか。</p> <p>(各班の意見)</p> <p>4班: 5班: 6班:</p> <p>[一般化]</p>
<p>《新たな疑問と課題》</p> <p>疑問: なぜ~だろう? → 学習課題</p>	

1年 社会科学学習指導案

1. 本時…追究～国境を自由にこえられるくらし～（第4時）
2. 本時の目標…ヨーロッパ連合（EU）の現状を理解し、適切な資料を用いて現在の課題について追究する。
3. 本時の評価

観点	学習活動における 具体的な評価規準（B）	（A）十分満足できる	（C）の生徒への手だて
関心 意欲 態度	既習事項や教科書などの情報を基に、価値判断や意思決定ができる学習課題をつくっている。	価値判断や意思決定をするのに、多面的・多角的に考える必要がある学習課題をつくっている。	EUについて、具体的に何が課題になっているのかを教科書から読み取ることで、「もしも～ならば」に入る言葉を考えることができるようにする。
思考 判断 表現	EUの現在の課題について考え、具体的な根拠を示しながら論述している。	複数の根拠を示しながら、自分の考えを論述している。	教科書のキーワードを再確認することで、論述の根拠として活用できる知識に気付くようにする。

4. 本時の展開

過程（分）	学習内容	学習活動（◇）、予想される生徒の反応（・）	指導上の留意点（○）・支援（*）・評価（【 】）
課題設定 (15分)	1. キーワードの確認	◇家庭学習で挙げたキーワードを、全体で確認する。	○キーワードを板書し、EUの基本的な内容について確認する。
	発問「EUの現在の課題について、あなたが何かを判断したり決めたりすることが必要な学習課題をつくり、自分の考えをまとめましょう。」		
	2. EUの現在の課題	◇「産業」「ユーロ」「労働者」「域内格差」からテーマを選び、EUの現在の課題に関して価値判断や意思決定の必要な学習課題をつくる。 ・もしも他の国の安い製品が入ってきて自分の国の製品が売れなくなったら、あなたはどうか。 ・あなたがイギリスの総理大臣なら、ユーロを使うか。 ・どうすれば失業者が増加している問題を解決できるか。	○第1時から第3時でつくった学習課題も参考に にする。 ○「学習課題の作り方」を参考にして考える。 *「もしも～なら、あなたはどうか」という学習課題の形を示すことで、～に入る言葉を考えて学習課題をつくることのできるようにする。
交流と 再構築 (15分)	3. 学習課題の検討	◇各自の学習課題をグループで交流し、より考えを深めることができるものにする。 <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">説明</div> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">解釈</div> ◇各グループでつくった学習課題について、全体の場で発表する。	○より多面的・多角的に考えることのできるような学習課題にする。 【関心・意欲・態度】 既習事項や教科書などの情報を基に、価値判断や意思決定ができる学習課題をつくっている。（ノート、交流の様子）

仮説立案 と検証 (20分)	4. 自分の考えの論述	<p>◇グループでつくった学習課題について、自分の考えを文章で論述する。</p> <p style="text-align: center;"> 解釈 論述 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品の質を上げて対抗する。理由は、自国の製品の質を上げれば売り上げが伸びて、お互いに競争しながら発展していけると考えるからである。 ・ユーロは使用しない。理由は～だからである。 ・トルコなどに援助して、産業が発展するように協力する。理由は、産業が発展すれば自分の国で働き口が増えて、労働者の移動も減り、仕事をとられることがなくなると考えるからである。 <p>◇振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EUはヨーロッパ諸国が協力して大きな経済力をもつようになった組織だが、ユーロや失業者など多くの問題を抱えていることがわかった。 	<p>○「～だと考える。理由は～だからである。」という文型を用いて、自分の考えの根拠となるものを明らかにする。</p> <p>*教科書や資料のキーワードを再確認することで、論述の根拠として活用できる知識に気付くようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>EUの現在の課題について考え、具体的な根拠を示しながら論述している。(ノート)</p> <p>*「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きで挙げることで、文章化できるようにする。</p>
----------------------	-------------	--	---

5. 板書計画

<p>第2節 ヨーロッパ集</p> <p>【追究～自由に国境をこえられるくらし～】</p> <p>◎本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ連合（EU）の現状を理解し、適切な資料を用いて現在の課題について追究する。 <p>◎めざす姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項や教科書などの情報を基に、価値判断や意思決定ができる学習課題をつくっている。(関心・意欲・態度) ・EUの現在の課題について考え、具体的な根拠を示しながら論述している。(思考・判断・表現) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>気付きメモ (キーワード)</p> </div>	<p style="text-align: center;">学習課題</p> <p>EUの現在の課題について、あなたが何かを判断したり決めたりすることが必要な学習課題をつくり、自分の考えをまとめよう。</p> <p>〈各班の意見〉</p> <p>1班：～</p> <p>2班：～</p>
---	---

1年 社会科学習指導案

1. 本時…ヨーロッパとアジアにまたがる国ロシア（第5時）
2. 本時の目標…ロシアの国土と歴史について概観し、日本との貿易関係について理解できるようにする。
3. 本時の評価

観点	学習活動における具体的な評価規準 (B)	(A) 十分満足できる	(C) の生徒への手だて
関心 意欲 態度	地図やグラフなどの資料から、ロシアの国土や歴史についての複数の情報を読み取り、ノートに書き留めている。	ヨーロッパや日本とのつながりを踏まえてロシアについての情報を読み取り、ノートに書き留めている。	自然環境や歴史などの視点を示すことで、教科書の本文から情報を読み取ることができるようにする。
資料 活用 の 技能	グラフを用いて、ロシアと日本の貿易の特徴について、必要な情報を読み取っている。	ロシアと日本が資源の共同開発をしていることを踏まえ、経済協力という視点をもって必要な情報を読み取っている。	どの品目が何パーセントかという具体的な数字をきくことで、貿易の特徴に気付くことができるようにする。

4. 本時の展開

過程 (分)	学習内容	学習活動 (◇), 予想される生徒の反応 (・)	指導上の留意点 (○)・支援 (*)・評価 (【 】)
プロセス1 (7分)	1. キーワードの確認	◇家庭学習で挙げたキーワードを、全体で確認する。	○事前学習ができているか、机間指導で確認する。 ○キーワードを板書し、特に重要なものについては、意味や内容も確認する。 *自然環境や歴史などの視点を示すことで、教科書の本文から情報を読み取ることができるようにする。 【関心・意欲・態度】 地図やグラフなどの資料から、ロシアの国土や歴史についての複数の情報を読み取り、ノートに書き留めている。(ノート)
発問「ロシアと日本の貿易の特徴は、どのようなものでしょう。また、今後どのようになっていけばよいのでしょうか。」			
プロセス2 (10分)	2. ロシアと日本の貿易の特徴	◇教科書のグラフや地図帳・資料集の資料から、ロシアと日本の貿易の特徴を読み取る。 読取 解釈 ・ロシアからは、原油や石炭を多く輸出している。 ・日本からは、自動車を多く輸出している。 ・石油や天然ガスを日本に輸出しているのは、共同開発をしているからではないか。 ◇ロシアと日本の貿易は、今後どのようになっていけばよいと思うか、理由を示して文章にまとめる。 ・日本はエネルギー資源の乏しい国なので、今	*どの品目が何パーセントかという具体的な数字をきくことで、貿易の特徴に気付くことができるようにする。 ○資料集 p. 54～55 の資料も参考にする。 【資料活用の技能】 グラフを用いて、ロシアと日本の貿易の特徴について、必要な情報を読み取っている。(ノート) ○今までに学んだことや資料の情報を用いて、理由を示すようにする。

		<p>後もロシアと協力して開発を進め、輸入していけばよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は 5000 億円以上損をしているので自動車の輸出を今まで以上に伸ばし、もっともうければよい。 	
プロセス3 (5分)	3. 説明内容の検討	<p>◇各自が考えをグループで交流し、貿易の特徴と今後についてまとめる。 説明 解釈</p> <p>◇グループでまとめた意見を、全体の場で発表し交流する。</p>	<p>○どの資料からどういうことを読み取ったのかを、必ず説明するようにする。</p> <p>○「資料からわかったこと」と「自分で考えたこと」の違いを意識できるようにする。</p>
プロセス4 (8分)	4. 学習のまとめと課題づくり	<p>◇今日の学習内容を一般化する。</p> <p>◇振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアは日本から多くの自動車を輸入し、日本はロシアから多くの資源を輸入している。お互いに必要としていることがわかった。 ・ロシアと日本は、原油や天然ガスを共同開発し、協力していることがわかった。 ・ロシアと日本の貿易で、問題点はないのか知りたくなった。 <p>◇今日の授業で新たに生まれた疑問を基に、各自で学習課題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアと日本は、貿易以外の部分では、どのような関係なのだろう。 	<p>＜一般化（まとめ）＞ ロシアから日本への輸出品は、原油や天然ガスなどが中心である。エネルギー資源の乏しい日本にとっては、今後も重要な貿易相手であるといえる。</p> <p>* 「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きであげることで、文章化できるようにする。</p> <p>○「学習課題のつくりかた」を参考にして、学習課題を考えるようにする。</p>

5. 板書計画

<p>第3章 世界の諸地域</p> <p>第2節 ヨーロッパ州</p> <p>【ヨーロッパとアジアにまたがる国ロシア】</p> <p>◎本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアの国土と歴史について大まかにことらえ、日本との貿易関係について理解する。 <p>◎めざす姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図やグラフなどの資料から、ロシアの国土や歴史についての複数の情報を読み取り、ノートに書き留めている。(関心・意欲・態度) ・グラフを用いて、ロシアと日本の貿易の特徴について、必要な情報を読み取っている。(資料活用の技能) 	<p>〈各班の意見〉</p> <p>1班：</p> <p>2班：</p> <p>3班：</p>
<p>気づきメモ (キーワード)</p> <p>ウラル山脈、日本の45倍の面積、9時間の時差、シベリア、-50℃以下の気温、100以上の少数民族、ソビエト連邦、豊富な資源(原油、天然ガス)、日本との共同開発</p>	<p>〔一般化〕 ロシアから日本への輸出品は、原油や天然ガスなどが中心である。エネルギー資源の乏しい日本にとっては、今後も重要な貿易相手であるといえる。</p>
<p>学習課題</p> <p>ロシアと日本の貿易の特徴は、どのようなものでしょう。また、今後どのようになっていけばよいのでしょうか。</p>	<p>〔学習の振り返り〕</p> <p>〈新たな疑問と課題〉 疑問：なぜ～だろう？ 学習課題 どうすれば～だろう？</p>